沿岸定線観測速報　ちば（2020 年 12 月）

千葉丸：12 月 6～12 日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和 2 年 12 月 22 日

黒潮はやや接岸して房総沖を北東に流れていました（図 2）。
水温は，銚子・九十九里，外房いずれも海面から水深 200m まで平年よりやや高め～高めでした（表 1）。

（詳細）

水深 10m の水温は 17～24℃で，銚子・九十九里では沿岸と沖の間で顕著な潮目が見られました（図 3）。鉛直的に見ると，海面から水深 150m にかけて黒潮から波及した暖水が分布していました（図 5）。一方，犬吠埼南東線の大陸棚斜面（水深 400m 前後）には，低温，低塩分な水塊が見られました。

海面の流れは，黒潮とその暖水が波及する海域では 2～3 ノットの北東へ向かう流れでした（図 2）。

クロロフィル濃度は少なめでした（水深 10m 層は最大で 0.7μg/L，水深 50m 層は最大で 0.5μg/L，図 7）。

キンメ漁場の底層水温は，勝浦沖，銚子沖ともに前年より 2～3℃高めでした（図 8）。海面の流れは，勝浦沖は北北東へ向かう 2 ノットの流れ，銚子沖は北東へ向かう 3 ノットの流れでした。

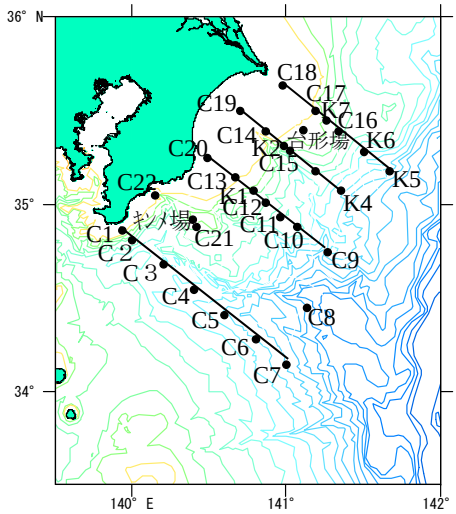


図 1　調査点
線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

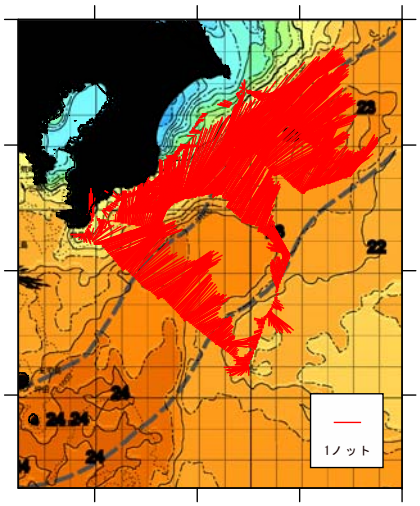


図 2　観測時の海況

表 1　海域別平均水温（℃）と評価

海域	0m		50m		100m		200m	
銚子・九十九里	20.7	やや高め	22.1	高め	19.7	やや高め	16.7	高め
外房	21.8	やや高め	21.1	やや高め	21.0	高め	17.0	高め

＊水温評価点　（ 銚子・九十九里海域：C14～20　計 7 点 ）
（外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22　計 6 点）

＊沿岸水温評価の目安（σ：標準偏差）

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

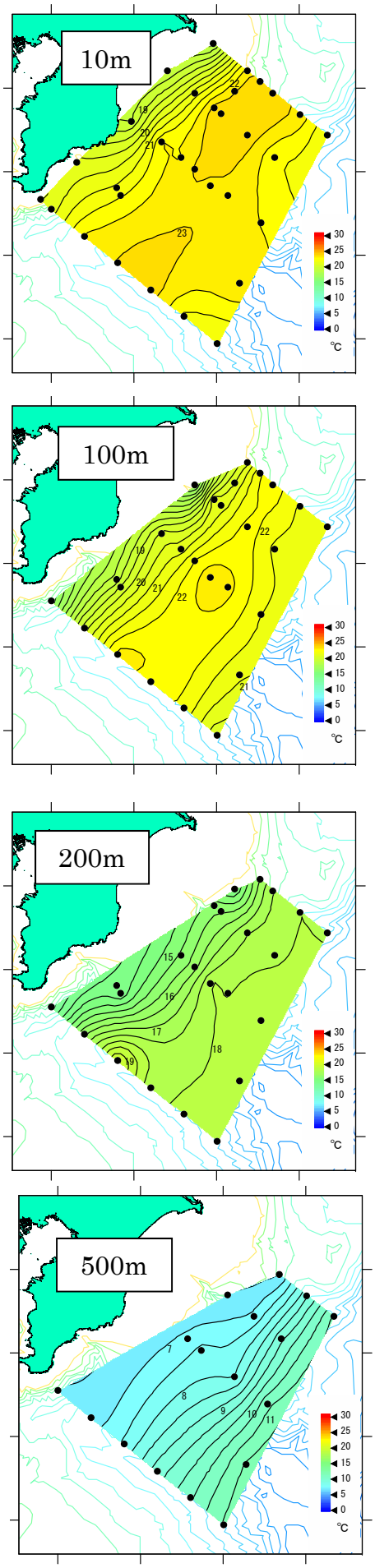


図 3　水深別の水温分布

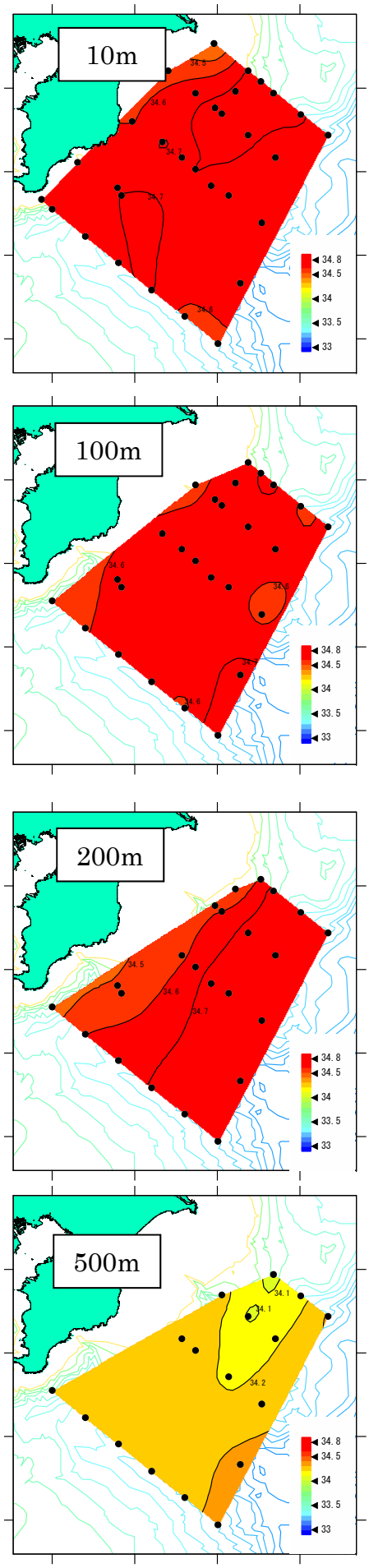


図 4　水深別の塩分分布

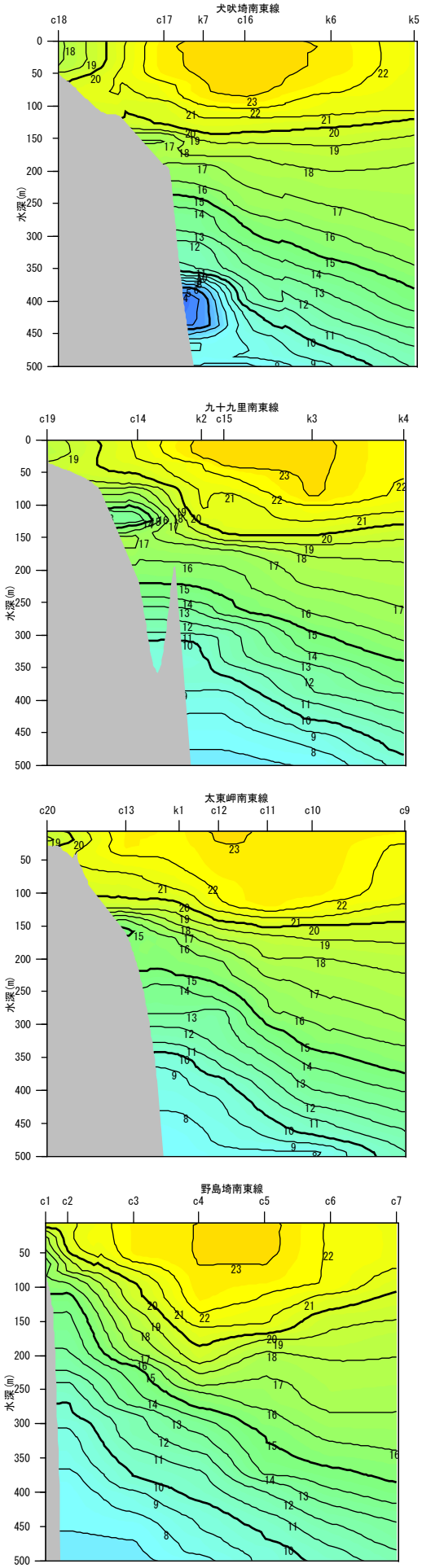


図 5　水温鉛直分布

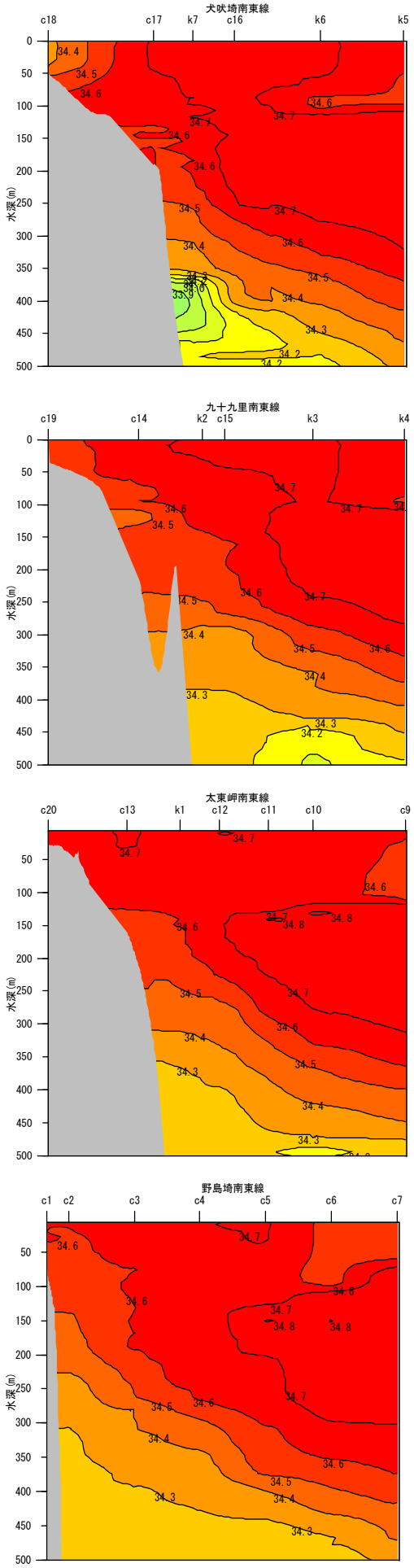
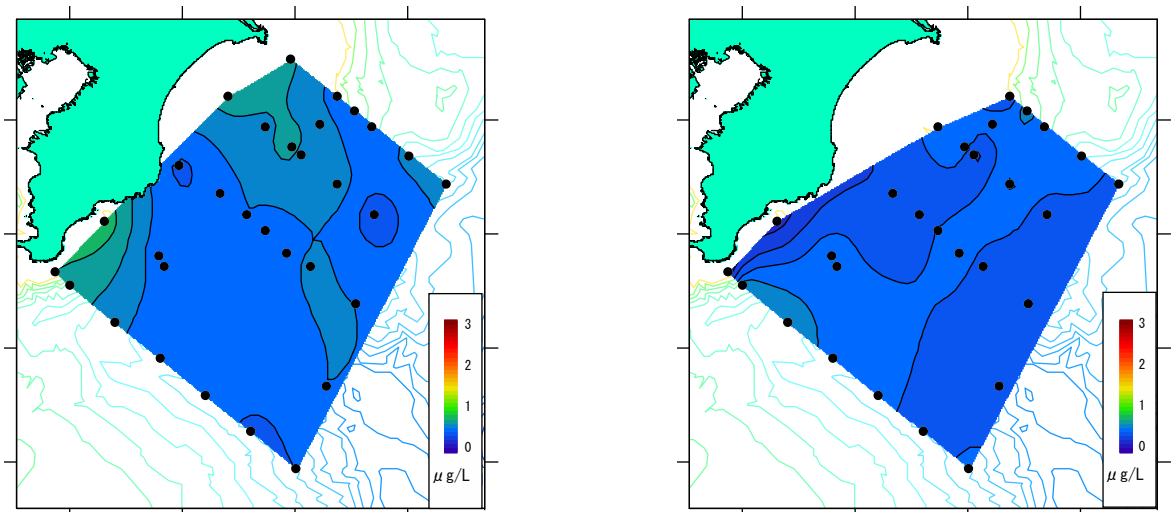


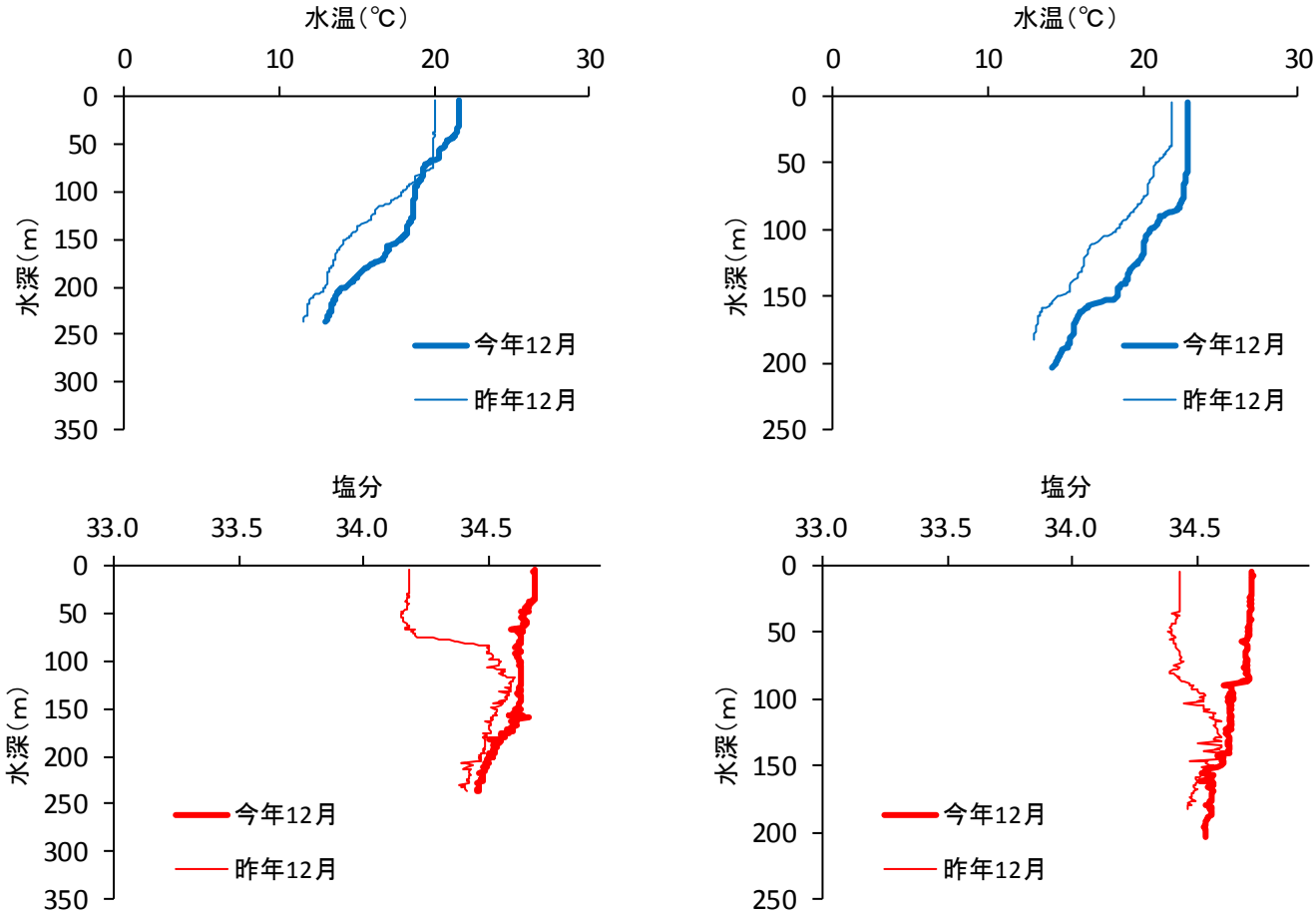
図 6　塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図 1 参照）。



10m　　50m

図 7　水深別のクロロフィル分布（単位：μg/L）



勝浦沖キンメ場　　銚子沖台形場

図 8　勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）

＜資料＞ 関東・東海海況速報（図 2；12 月 9 日分）